

EU Indicators

欧州経済指標コメント：4-6月期ユーロ圏GDP速報値

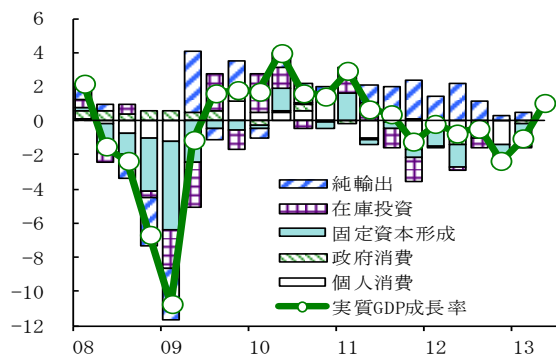
発表日：2013年8月14日(水)

～7四半期振りのプラス成長復帰～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

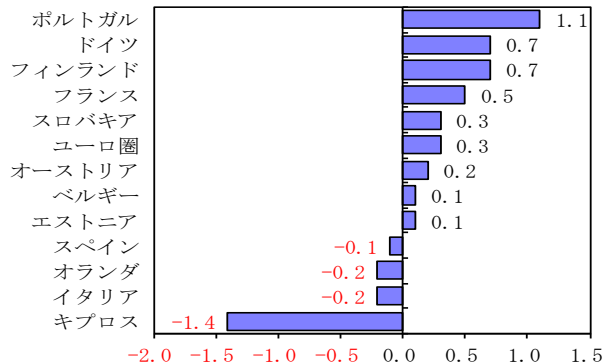
- 4-6月期のユーロ圏の実質GDP成長率の速報値は前期比+0.3%、同年率+1.1%と7四半期振りにプラス成長へ復帰した。国別の内訳は、イタリア（1-3月期：前期比▲0.6%→4-6月期：同▲0.2%）、スペイン（同▲0.5%→同▲0.1%）、オランダ（同▲0.4%→同▲0.2%）でマイナス幅が縮小、ドイツ（同横ばい→同+0.7%）、フィンランド（同+0.2%→同+0.7%）で成長率が加速、フランス（同▲0.2%→同+0.5%）、ポルトガル（同▲0.4%→同+1.1%）でプラス成長に転換した（右図）。
- 需要項目別の内訳は9月4日に発表される改定値を待つ必要があるが（左図）、個別国の発表資料によれば、ドイツで個人消費、政府消費、設備投資など内需項目に加えて、輸出拡大が成長を牽引した。フランスでも、個人消費、政府消費、在庫投資、輸出など、幅広い需要項目が成長率を押し上げた。
- 4-6月期の景気は季節外れの寒波によって建設活動が下振れした1-3月期の反動や、気温低下による燃料消費の増加で上押しされた模様。7-9月期の景気は天候要因による上押しが剥落する一方、欧州中部を襲った大洪水の復興需要、海外景気の回復持続、マインドの改善（7月のユーロ圏のPMI総合指数が好不況の分岐点である50超を回復）に支えられ、回復基調を維持する公算が大きい。

■ユーロ圏：実質GDP成長率（前期比年率、%）



出所：Eurostat

■2013年4-6月期の実質GDP成長率（前期比、%）



出所：Eurostat

■ユーロ圏GDP（前期比年率<%>、括弧内は寄与度<%ポイント>）

期	名目GDP	実質GDP	内需				外需			
			個人消費	政府支出	固定資本投資	在庫	輸出	輸入		
11/7-9月期	1.6	0.4	(▲ 1.0)	1.1	▲ 0.5	▲ 1.9	(▲ 1.1)	(1.4)	5.2	2.1
11/10-12月期	0.0	▲ 1.2	(▲ 3.5)	▲ 3.0	0.5	▲ 2.3	(▲ 1.5)	(2.3)	0.0	▲ 5.3
12/1-3月期	0.9	▲ 0.2	(▲ 1.6)	▲ 0.7	▲ 0.5	▲ 5.1	(▲ 0.1)	(1.4)	3.3	0.1
12/4-6月期	0.7	▲ 0.7	(▲ 2.9)	▲ 2.0	▲ 1.1	▲ 7.1	(▲ 0.2)	(2.2)	6.3	1.4
12/7-9月期	0.9	▲ 0.4	(▲ 1.6)	▲ 0.6	▲ 0.5	▲ 3.2	(▲ 0.6)	(1.2)	3.3	0.8
12/10-12月期	▲ 1.2	▲ 2.4	(▲ 2.6)	▲ 2.5	0.2	▲ 5.8	(▲ 0.2)	(0.3)	▲ 3.7	▲ 4.7
13/1-3月期	1.4	▲ 1.1	(▲ 1.5)	0.1	▲ 0.6	▲ 7.4	(▲ 0.1)	(0.4)	▲ 3.5	▲ 4.9
13/4-6月期	-	1.1	-	-	-	-	-	-	-	-

出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。